

「秋葉子供みこし」祭り 4 年ぶりの開催

コロナウイルス感染の為、4 年ぶりに秋葉 3 町内の「子供みこし祭り」が開催されました。

「秋葉子供みこし」は昭和 53 年に秋葉青年会が「秋葉祭り子供たるみこし」として、リヤカーを山車にしてスタートした歴史ある秋葉町内のお祭りです。その後、現在の 2 台の山車に引き継がれていますが、このお祭りにかかる山車の修理費や提灯などの費用の一部は現在、市からの補助金を当てながら実施しています。

今年は 4 月 22 日に宵宮、23 日に本宮を開催し、本宮当日は晴天にも恵まれ青年会を中心に多くの町内の方々と法被^{はっぴ}を着た子供たちが参加しました。

参加の皆さんは秋葉神社拝殿でお祓いを受けたあと、元気よく「わっしょい」「わっしょい」と山車を引いて、お囃子に合わせて秋葉 3 町内を練り歩きました。参加した大人も子供も楽しみ、喜んだ「秋葉子供みこし」でした。



2 台の山車の前で、さあ出発するぞ～

「町内花壇整備と花植え・今年で 29 年」



きれいに花植え整備された花壇



前日の苗購入（事前予約の花苗）



せせらぎ遊歩道の苗植え作業



幸清水公園の苗植え作業

町内花壇の花植えは地域貢献の一環として平成 6 年に市の要請もあり、秋葉 1 丁目では有志の皆さんで「花の会」を立ち上げ、その会の趣旨として、「町内の花いっぱい活動及び環境美化を通し、親子のふれあい、町内会会員の交流融和をはかり、「明るく住み良い町内づくり」に努める。」ことを目的に、町内の桂並木街路樹、せせらぎ遊歩道、幸清水公園の花壇に平成 6 年から毎年、花の苗を植えて、今年で 29 年目になります。

そして今年も 5 月 28 日(日)に花の会と町内会を中心に、秋葉寿楽会、隣組組長、PTA、そして町内の方々約 110 名の参加を頂き、サルビア、マリーゴールド、ペゴニアの苗 896 ポットを植えました。この花の苗購入費用の一部は毎年市からの補助で購入をしています。

参加した皆さんは、花壇を前に花の色や間隔など景觀に配慮しながらきれいに苗を植えていました。そして今年も秋まで道路沿いに植えられた花々は町内外の多くの皆さんを楽しませてくれることと思います。

今後は秋まで水やり当番や、花壇周りの雑草除去、楽しませてもらった花壇の後始末まで、年に何回かの手入れを行って、きれいな花壇になっています。これら維持管理を「花の会、町内会、ボランティア」の方々に今年も行っていく予定です。

花植えに参加された町内の皆様大変ご苦労様でした。来年も多くの皆様のご参加をお願い致します。



桂並木街路樹の苗植え作業

伝説の池「七色の池」・史跡「幸清水」 清掃



清掃後の綺麗な七色の池

秋葉町内の伝説の池「七色の池」と池周辺の除草、剪定、落ち葉などの清掃を今年も青年会の呼びかけで隣組長さんはじめ秋葉 3 町内から多くの方の参加を頂き 6 月 4 日(日)に実施しました。

特に毎年大変な作業は池の底に溜まった泥をスコップですくい、クレーンで釣り上げてからトラックで廃棄場所まで運びますが、今年は暑さと湿気がすごく、汗でびしょりになりながらの作業となりました。

伸びきった草木もトラック数台分にもなりました。しかしそのかいもあり清掃後の池やその周辺は見違えるほど明るくきれいになりました。

参加の町内の皆さん大変お疲れさまでした。

七色の池の掃除の後に町内役員の有志で幸清水公園の清水の清掃も行いました。ポンプで清水の水を抜いてから底のゴミを除き、小石も洗い上げると透き通るほどに綺麗な清水になりました。皆さんも幸清水の近くに来たら、寄って見て行って下さい。

秋葉町内にこれらの史跡があることは誇りです。これからも町内で大切にしていきたいと思えます。



史跡・幸清水



クレーンで泥の吊り上げ作業



清水の水をポンプで抜いての水底の掃除作業



池周りの除草作業



清掃後の透き通った清水



秋葉町内防災避難訓練開催

秋葉 1 町内防災避難訓練を 6 月 18 日(日)に、地震を想定して各隣組長毎に一時避難所に合計 178 名の方が集まりました。その後、秋葉第一公園に集合して消火訓練を実施しました。

晴天の中行われた第一公園での防災訓練には、町内から 141 名が参加し、消火訓練や通報訓練など災害時の防災活動について体験しました。

火災を想定した初期の消火訓練では参加者の多くの方が順番に訓練用の水消火器を使い実践的な訓練を行いました。

実際の火災では消防車が到着するまでの間の**初期消火**が重要となります。これからも防災訓練には皆さんが積極的に参加していざという時に備えましょう。



訓練用水消火器を使った消火訓練の様子

編集後記

秋葉 1 丁目会報「ふれあい通信」は今回で第 100 号の発行となりました。これまで掲載内容は町内役員が記事を検討して掲載していますが、町内の皆さんからも「我が家の自慢」や掲載してもらいたい内容(記事)等何でも結構です。ご応募ください。編集会議にて掲載したいと思えます。ご応募は各町内役員までお知らせ下さい。発行は年約 3~4 回を予定してしますが、多少遅れての発行になることをご了承下さい。